



2020年11月13日

各位

会社名 アジア航測株式会社
代表者名 代表取締役社長 小川 紀一郎
(コード：9233 東証第二部)
問合せ先 常務取締役経営本部長 迫 徹
(TEL. 044-969-7230)

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年10月から2023年9月までの3年間を対象とした新中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. テーマ

あすを共創る ～Leading for the Future～

「Contribution」 挑み、拓いた、空間情報技術を強みとしたコンサルタント力で社会に大きく貢献する企業

「Globalization」 基盤となる経営環境と空間情報技術を活かした市場展開により、グローバル社会から信頼され続ける企業

「Alliance」 ビジネスパートナーとともに、あらゆる可能性に挑戦し、成長・拡大し続ける企業

「Value」 お客様をはじめ地域社会や従業員を含むすべてのステークホルダーに感謝・感動・信頼され続ける企業

2. 対象期間

2020年10月から2023年9月までの3年間

3. 業績目標（連結）

	前中計最終年度 2020年9月期（実績）	新中期経営計画 2023年9月期（目標）
売上高	301億円	340億円
営業利益	20.7億円	17億円以上

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

本資料で開示されているデータ及び将来に関する予測は、本資料発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであります。そのため、経済情勢や市場動向等、様々な要因によって変化する可能性もあり、記載された目標・予想等の達成及び将来の業績を保証するものではありません。



アジア航測グループ 中期経営計画

2020年10月 ~ 2023年9月

【第74期】 ~ 【第76期】



1. 事業は人が創る新しい道である

変革を恐れず、常に勇気と独創心を持って前進しよう。

2. 事業は永遠の道である

5年先のビジョンを共有し、3年先の目標に向かって今年の計画を着実に達成しよう。

3. 事業は人格の集大成である

人格は製品の品質に現れる。より高い自己の完成に努め社風を磨きあげよう。

4. 事業は技術に始まり営業力で開花する

新技術の開発力と、営業力の両輪こそが我が社の企業力。

5. 事業は社会のために存続する

地球の未来を創造する我が社の公共性を自覚しよう。

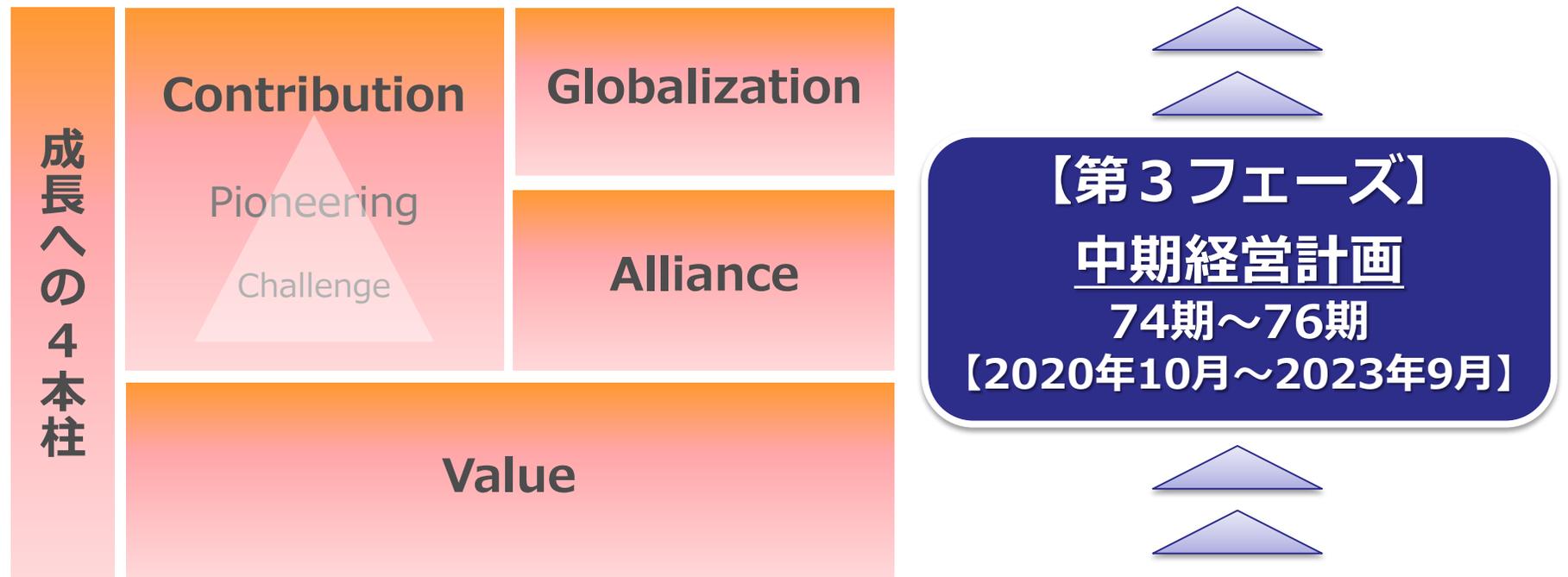
6. 事業はより高い利益創造で発展する

誇り高い企業理念の共有と、結束したアジア航測グループの総合力で、より高い企業利益を創造しよう。

1. 長期ビジョンと中期経営計画の位置づけ

長期ビジョン

新たな空間情報ビジネスの可能性に挑戦し、成長し続けるグローバル企業



【第2フェーズ】中期経営計画71期～73期

【第1フェーズ】中期経営計画68期～70期

2. 前中期経営計画：71期～73期（2017年10月～2020年9月） 「未来を拓け！～Growth to the next Stage～」の総括

中期 目標

- Pioneering 新たな収益基盤構築への挑戦
- Globalization 海外市場へ向けての飛躍
- Alliance パートナー企業との連携による企業グループの形成
- Value 日本を代表する空間情報コンサルタント企業の実現

71期～73期の業績（連結）

	71期			72期			73期		
	目標	結果		目標	結果		目標	結果	
売上高	260億円	246億円	△	280億円	285億円	○	300億円	301億円	○
営業利益	13億円以上	9.5億円	△	14億円以上	13.5億円	△	15億円以上	20.7億円	○
ROE	8%	5.7%	△	8%	8.4%	○	8%	12.0%	○

3. 中期経営計画のテーマ 「明日を共創る」

明日を共創る

Leading for the Future

アジア航測グループは、社会に必要とされる企業であり続けるために、戦後の国土復興から今日まで“空間情報コンサルタント”として歩み続けてまいりました。社会経済に大きな影響を与えているコロナ禍や台風や豪雨、地震などの自然災害にいたるまで、日々さまざまな脅威に晒されている世界のなかで、アジア航測グループは常に未来を見定め、今なすべき課題を解決し、安心・安全で持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

～ **Leading for the Future** ～

私たちアジア航測グループは、これまで挑み、そして拓いてきた強い志を継承し、優れた技術力で次世代の空間情報ビジネスをリードします。

5. 中期目標

Contribution

挑み、拓いた、空間情報技術を強みとしたコンサルタント力で社会に大きく貢献する企業

- 空間情報ビジネスにおけるトップランナーへの成長
- 連結売上高340億円の達成

Globalization

基盤となる経営環境と空間情報技術を活かした市場展開により、グローバル社会から信頼され続ける企業

- 全社グローバル体制の再構築
- 国内技術の海外展開の推進

Alliance

ビジネスパートナーとともに、あらゆる可能性に挑戦し、成長・拡大し続ける企業

- 事業連携の推進
- 新規事業分野の拡大
- ベンチャー起業支援

Value

お客様をはじめ地域社会や従業員を含むすべてのステークホルダーに感謝・感動・信頼され続ける企業

- お客様 空間情報コンサルタントとして、最も信頼されるプロフェッショナル企業
- 従業員 働く喜びと強い誇りを持てる企業
- 株主 挑戦と持続的成長がわかりやすく見える企業

6. 主要戦略

あらゆるものを測り、今を分析し、未来を予測することで、社会生活をイノベーションする 「AAS-DX」の推進

AAS-DX : Asia Air Survey – Digital Transformation

アジア航測グループはセンシングイノベーションが生活・インフラに融合した未来社会の構想と、経営戦略を強力に推進するIT基盤整備の2つの意味をあわせたDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進します。

事業

3D空間情報DXによる超スマート社会の実現

- メンテナンス分野を含めた包括的な行政サービスの国内外への展開
- センシング技術×AI分析による激甚化する自然災害への迅速かつ効果的な対応
- 新たな分野へのセンシングビジネスの挑戦

経営 管理

企業価値を最大化するコーポレート・ファイナンス

- 設備・開発投資やM&Aの効果を最大化する投資分析力の深化
- 必要な時に迅速な資金調達を可能とする財務基盤の強化

働き方 改革

業界No.1の働きがい

- 働き方改革の目的意識の浸透、多様な働き方と職場環境の実現
- 事業推進と社員のモチベーション向上を両立する人財開発

設備投資 研究開発

戦略を実現するための積極投資

- 最先端センシング機器の導入
- 品質向上と効率化を実現する生産技術の開発
- タイムリーに経営状態を見える化し、予測する基幹システムの強化

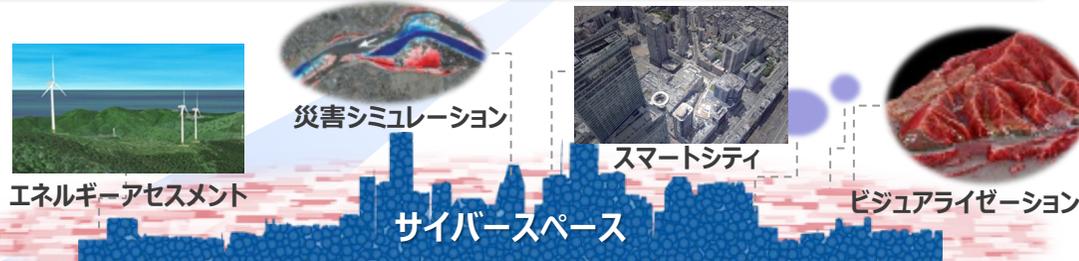
7. AAS-DX I : 「明日を共創る」事業戦略

新たな生活スタイルの社会基盤(インフラストラクチャー)を空間情報で支える企業に発展し続けます。

- 新たな生活スタイルを支える社会基盤の在り方を空間情報で予測し提案する空間情報コンサルタント企業へ
- 激甚化する災害の予防~対策~復旧・復興を支え、空間情報コンサルティングの深化で持続可能な社会を実現する企業へ
- 社会の必要性をいち早くキャッチし、社会のDXに寄与すべく進化し続ける企業へ

▶ AAS-DX *Asia Air Survey - Digital Transformation

センシングイノベーションが生活・インフラに融合した未来社会の構想



★オンラインとオフラインの融合 (Online-Merges-Offline)

オフラインの付属としてのオンラインではなく、オンラインが主となり、オフラインとのボーダーがなくなる社会

▶ センシングイノベーション 次世代空間情報サービス研究・技術開発、事業開発



▶ 当社事業における重点分野の戦略的推進

※本資料内のイラストは、当社著作物及び著作権フリー素材を利用しています。

明日を共創る
Leading for the Future

アジア航測株式会社
ASIA AIR SURVEY CO.,LTD.

8. AAS-DX II : 経営管理力の向上と健康経営の推進

IT活用を推進することで「様々なビジネスモデルへ展開できる基盤」・「経営の見える化・効率化、円滑な意思決定ができる基盤」の構築と「役職員が健康で安全に働き続けられる環境」の整備を推進します。

健康経営

事業拡大

電子認証推進

RPA活用

戦略人事システムの構築

ITの積極活用により人財の見える化を進め、人財育成から戦略的な人事を可能とする基盤の整備を推進します。

生産基盤強化

新規事業の展開やグループ会社の生産力を最大限引き出し、グループ業務の効率化を推進する生産基盤の強化を推進します。

働き方改革

テレワーク環境や新たなコミュニケーション手法により、働く場所によらず役職員がこれまで以上に力を発揮することが可能な環境の整備を推進します。

基幹システムの強化

これまでの社内文化にとらわれず改革を実施し、事業から経営管理までタイムリーな数値管理・予測・分析で各戦略を強固に支え、迅速な経営判断を可能とする基幹システムの強化を推進します。

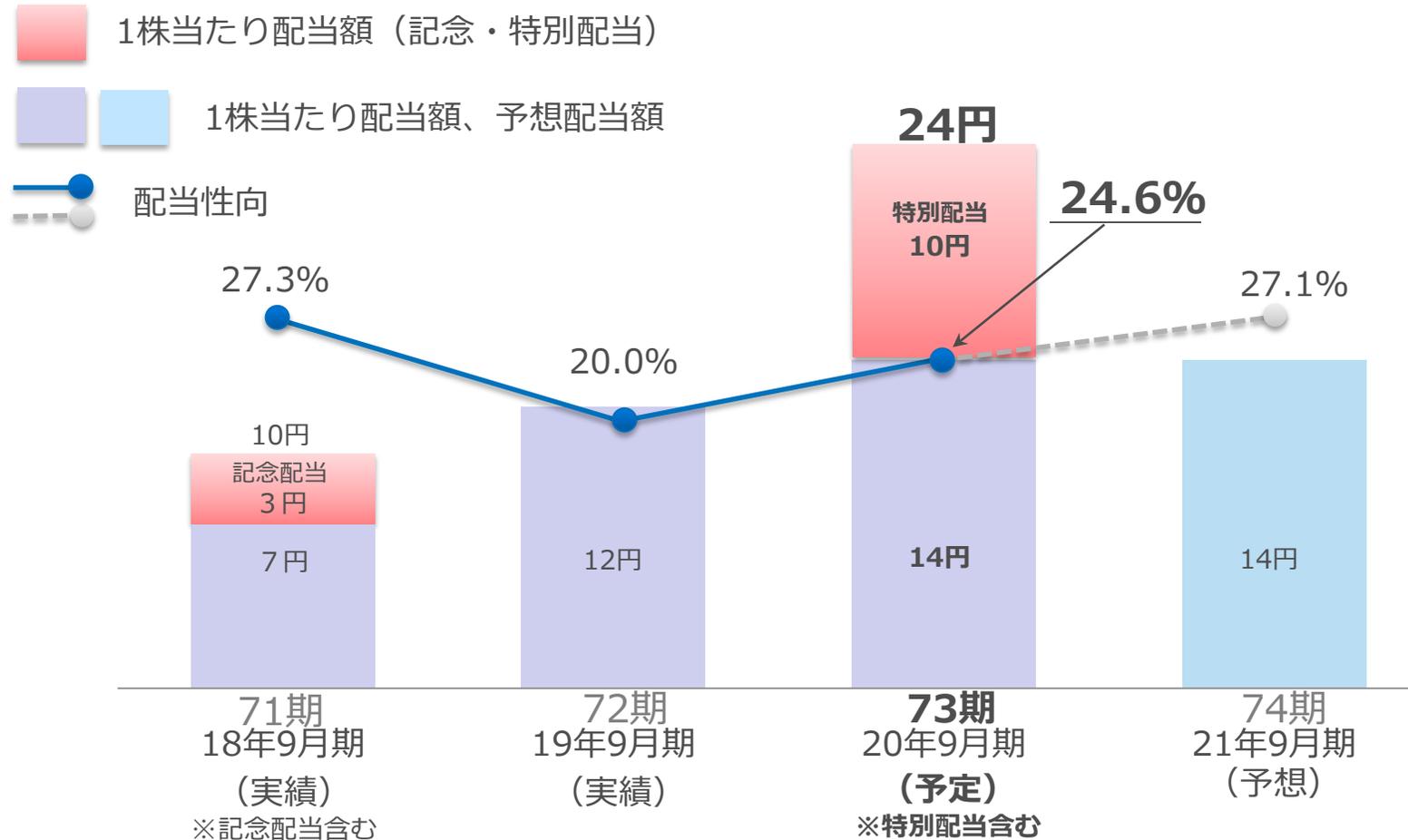
ネットワーク強化

データ共有基盤強化

※本資料内のイラストは、当社著作物及び著作権フリー素材を利用しています。

9. 資本政策

「配当性向20%~30%」を目標とし、継続的かつ安定的な株主還元を基本方針とします。



10. コンプライアンス経営とSDGs経営

中期経営計画における全ての施策は
コンプライアンス経営とSDGs経営を前提として実施します。

コンプライアンス経営

法令等の遵守はもとより、社会の構成員としての企業人、社会人として求められる価値観・倫理観に基づき誠実に行動します。また、その行動を通じて公正かつ適切な経営を実現し、市民社会からの要請に応え、AASグループを創造的に発展させていきます。

【実施施策】

1. ユニットコンプライアンス活動の推進
2. 相談・通報窓口の周知徹底
3. コンプライアンス研修の実施
4. コンプライアンスに係る情報発信・共有
5. 全役職員向けeラーニングによる教育の実施

SDGs経営

持続可能な社会の創造に向けて、高い倫理観をもって社会的責任を果たします。また、役職員全員が自ら主役となって環境保全、環境負荷低減に取り組むとともに、空間情報コンサルタントとして計測・調査・対策等のSDGsに関わる事業活動を通じ、より実践的なSDGs経営を推進します。

【実施施策】

1. SDGsに関連したエコ・ファースト※の実行
2. 健康経営の推進
3. ESG等に関する活動の公表

※「エコ・ファースト」とは、企業の環境保全に関する業界のトップランナーとしての取組を促進していくため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策など、自らの環境保全に関する取組を約束する制度です。



持続可能な開発目標（SDGs）とは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、アジア航測グループも積極的に取り組んでいます。

本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したもので、将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢・競合状況・天候等に関わるリスクや不安定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。